

# お客さま本位の取り組み状況

---

2023年度

三菱UFJアセットマネジメント

- 三菱UFJアセットマネジメント株式会社（以下、当社）では、三菱UFJフィナンシャル・グループ（以下、MUFG）共通の指針となる「[MUFGフィデューシャリー・デューティー基本方針](#)」に基づき、お客さま本位の取り組みの徹底を図るため、当社としての「取組方針」を策定し、商品・サービスのさらなる向上に取り組んでおります。
- 当資料では、当社「取組方針」および2023年度の取組状況や具体的な指標（KPI）、取組事例を取り纏め、次頁以降にその詳細をお示ししますのでご覧ください。
  - ※ 「取組方針」の項番「1～3、5、8～9」は、「MUFGフィデューシャリー・デューティー基本方針」の各項目「1～9」に対応しています。
  - ※ 「取組方針」横に記載のスタンプ【原則●】は、金融庁公表の「[顧客本位の業務運営に関する原則](#)」（2021年1月改訂）との対応関係を示しています。

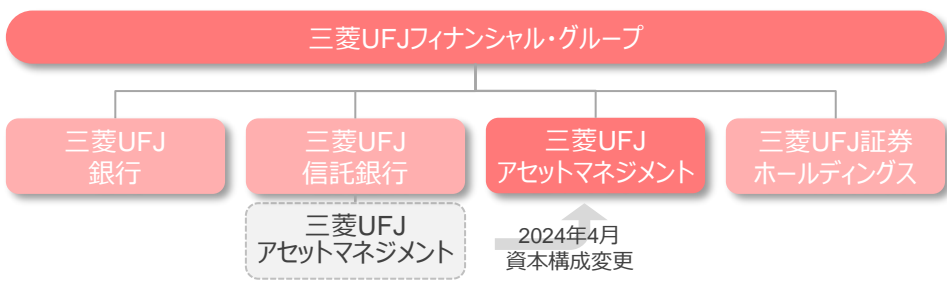
# 取組方針 1. お客さま本位の徹底

## 取組方針 1. お客さま本位の徹底 【原則2・7】

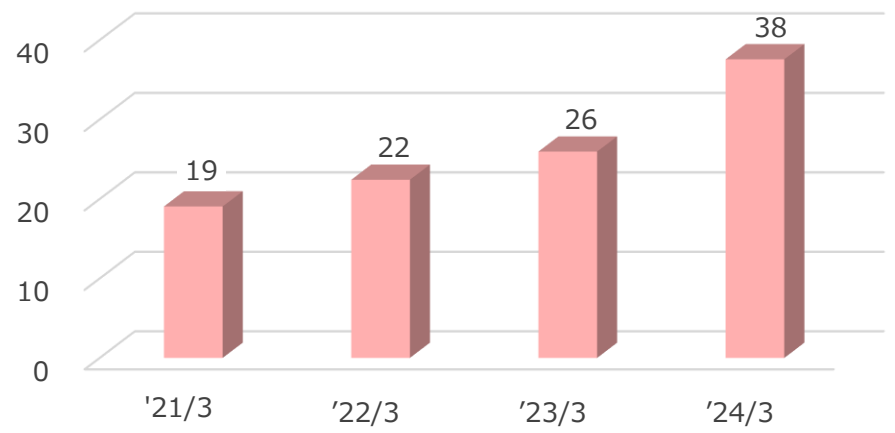
- 当社が果たすべきフィデューシャリー・デューティー(FD)を常に探求していく不断の取り組みこそが、“資産運用を通じて「あなた」と「社会」をつなぎ、より良い未来に貢献する”ことに繋がるとの考えから、FDを当社役職員に求められる思考様式・行動様式として位置づけ、全役職員でこれに取り組んでまいります。
- 社会における当社の存在意義を踏まえた**経営ビジョン**（「あなた」と「社会」の豊かな未来に貢献する）を制定し、「顧客の最善の利益の追求」としてお客さまの目線を重視した商品の組成・管理、品質の高い運用・情報提供を安定的かつ継続的に提供することを実践してまいります。
- 資産運用会社として経営の独立性・透明性を高めたガバナンス体制を構築するとともに、外部の意見等を取り入れる態勢を整備し、お客さまの目線からの見方・声を業務の運営や改善に反映してまいります。

### 取組状況（コーポレートガバナンス）

- 当社は従前より、金融インフラとしての資産運用の普及を通じた「貯蓄から投資へ」を運用会社として取り組むべき優先度の高い社会課題と捉えて注力してまいりました。その取り組みを更に進め、当社はお客さまを中心とした幅広いステークホルダーからの信頼をより一層得られる運用会社となるために、コーポレートガバナンス向上の観点で、より透明性が高い会社運営を目指した取り組みを進めております。
- その取り組みの一環として、2024年4月1日付で三菱UFJ信託銀行株式会社が保有する当社株式100%を株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループに現物配当・移管し、当社はMUFGの完全子会社となりました。加えて、当社取締役会の実効性を更に高めるべく、社外取締役を1名増員し、計5名の社外取締役を置いています（2024年6月末時点）



### 【図1】運用資産残高（兆円） KPI



• 運用資産残高は、投資信託残高および投資顧問契約残高の合計です

**ポイント** 「貯蓄から投資へ」の流れの高まりによる資金純流入に加え、堅調な市場動向を受けた株式等の時価評価額の上昇により、当社の運用資産残高は2023年3月末比で約11.6兆円増加しています

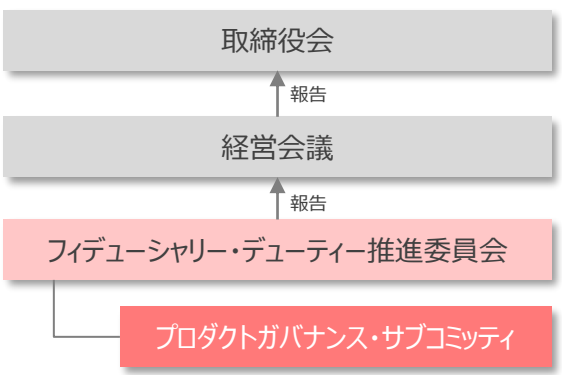
# 取組方針 1. お客さま本位の徹底

## 取組状況（プロダクトガバナンス体制）

### プロダクトガバナンス・サブコミティにおける取組み

- お客さま本位の姿勢の定着度合いなどをモニタリングするフィデューシャリー・デューティー推進委員会（以下、FD推進委員会）の傘下に、お客さまにご納得いただける投資成果の提供を目指し、社内における取組みの状況を包括的にモニタリングする「プロダクトガバナンス・サブコミティ」を2022年より設置・運営しています。
- プロダクトガバナンス・サブコミティには社外取締役が参加し、外部目線から当社の取組みをモニタリングし、プロダクトガバナンス高度化に向けた助言を得ています。
- 2023年度は計4回開催し、特にバリューマネジメント（ファンドの提供価値の維持・向上への取組み）に焦点を当て、商品のパフォーマンスモニタリングや改善に向けた運営体制の構築状況、開示等をプロダクトガバナンス・サブコミティにて報告・議論してきました。

### プロダクトガバナンス高度化に向けた体制



### プロダクトガバナンス・ポリシー

- 商品性**

現在および将来、当社の投資信託を保有いただくお客さまのニーズに沿った最適な商品の組成・提供を目指します

  - 提供価値（ファンドの目的・特色）の明確化
- 運用管理**

お客さまにご負担いただくコストに見合うリターンを確保できているかモニタリングすることにより、投資信託を通じた提供価値の維持を目指します

  - 信託報酬（運用管理費用）等控除後の運用成果のモニタリングを徹底
  - 運用成果の追求に向けた取組みの徹底
  - ファンドの目的・特色が十分提供できていない場合、適時適切に対応
- 開示**

お客さまの投資判断に必要な情報をご理解いただきやすく提供することを目指します

  - 正確な情報をわかりやすく提供
  - 様々な手段・方法で、タイムリーに情報を提供

# 取組方針 2. お客様のニーズをとらえた商品の開発・提供

## 取組方針 2. お客様のニーズをとらえた商品の開発・提供 【原則2・6】

- お客様の投資目的やリスク許容度を踏まえ、資産運用に係る動向もとらえた商品の開発に努めてまいります。また、商品開発にあたっては自社の運用ノウハウを駆使するほか、国内外の幅広い運用機関ネットワークを活用し、お客様の資産運用に資する商品ラインアップを拡充してまいります。
- それぞれの商品が目的や役割に合致した運用が継続可能かといった定期的な検証を実施するとともに、お客様のニーズの変化なども勘案し、最適な商品ラインアップとなるよう整備にも努めてまいります。

### 取組状況（プロダクトガバナンス）

- 当社は、お客様の多様化する資産運用ニーズに応えるため、経験豊富な運用プロフェッショナルによる自社運用に加えて、高い目利き力による外部運用も含めた商品を開発・提供しています。
- NISAの「つみたて投資枠」「成長投資枠」の両者の対象商品でもある「eMAXIS Slim 米国株式(S&P500)」は、ネット取引をご利用のお客様にご支持いただき、おかげさまで、国内公募株式投信（除くETF）において純資産総額 第1位となりました。

#### 国内公募株式投信（除くETF）純資産総額上位5ファンド

No.	ファンド名	運用会社	純資産総額 (億円)
1	eMAXIS Slim 米国株式(S&P500)	三菱UFJ アセットマネジメント	41,201
2	eMAXIS Slim 全世界株式 (オール・カントリー)	三菱UFJ アセットマネジメント	29,290
3	米国成長株投信Dコース毎月決算型 (為替ヘッジなし) 予想分配金提示型	アライアンス・ バーンスタイン	26,590
4	SBI・V・S&Pインデックス・ファンド	SBI アセットマネジメント	15,246
5	楽天・全世界株式インデックス・ファンド	楽天投信投資顧問	14,442

(2024年3月末基準)

#### プロダクトガバナンス高度化に向けた取り組みについて

- 2024年3月より「[プロダクトガバナンスレポート](#)」の発行を開始しています。
- お客様の大切なご資金を運用している当社の体制等についてご説明すると共に、当社が設定・運用する公募ファンドについて、お客様にご負担いただくコストに見合うリターンを確保できているか、お客様にご提示した商品性に合致した運用が継続可能か等を定期的に検証し、ファンドごとに品質管理を行った結果を定期的にご報告する取組みです。
- ファンドごとの検証結果につきましては、「国内株式・債券等」、「外国株式等」、「外国債券等」、「アロケーション・その他」の4つに分類し、3ヶ月ごとに順次公表していくもので、2024年3月公表のレポートでは「国内株式・債券等」の135ファンドを対象にご報告をしております。

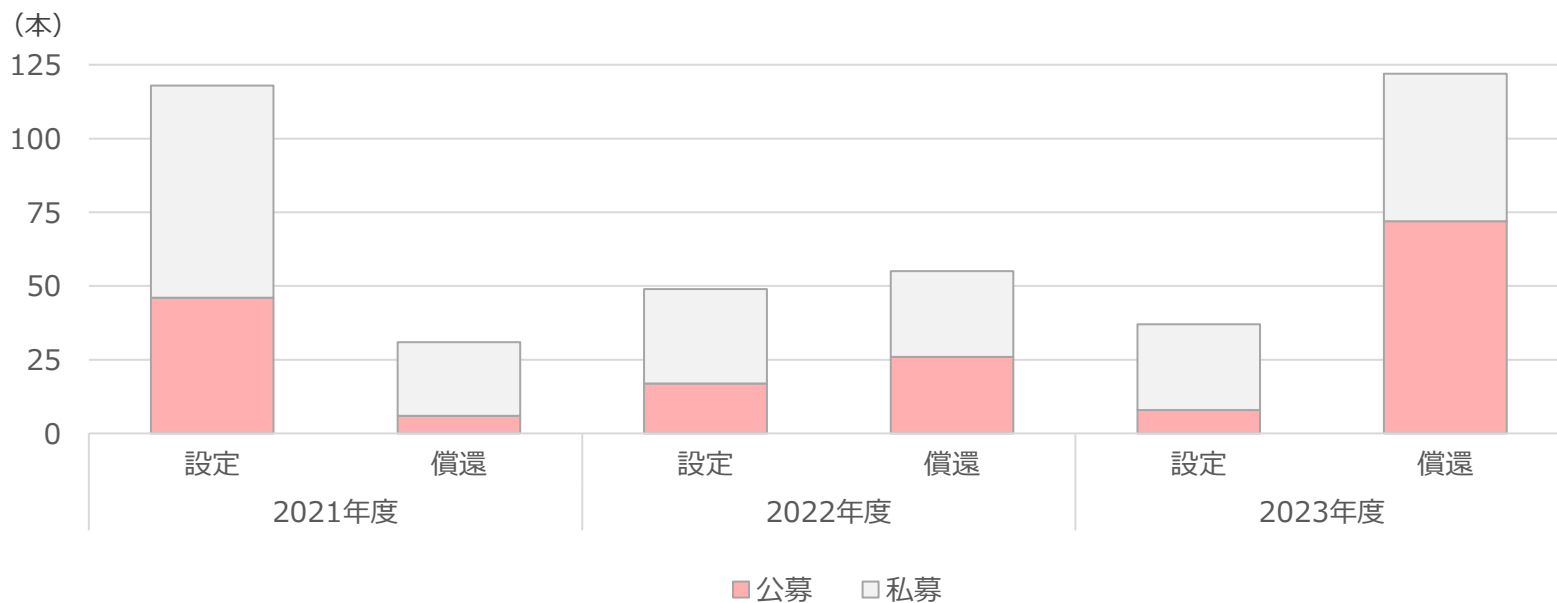


## 取組方針 2. お客様のニーズをとらえた商品の開発・提供

### <ご参考>【図2】2021～2023年度における新規設定・償還ファンド数

- お客様のニーズに沿った商品を提供するとともに、様々な投資機会の提供を目指すべく、新商品の開発・設定を行っています。
- 一方で、設定していた信託期間を満了し、お客様への提供における役割を果たしたファンドについては満期償還を実施しています。
- また、お約束していた提供価値の維持が残高の減少などにより困難と判断したファンド等については繰り上げ償還対応を行う等、ファンド毎の品質維持・向上を目的とした取り組みを行っています。

#### 新規設定・償還ファンド本数（2021～2023年度）



※ 親投信（マザーファンド）および外国籍投信を除く

# 取組方針 3. お客さま本位の情報提供およびコンサルティングの実践

## 取組方針 3. お客さま本位の情報提供およびコンサルティングの実践

【原則4・5・6】

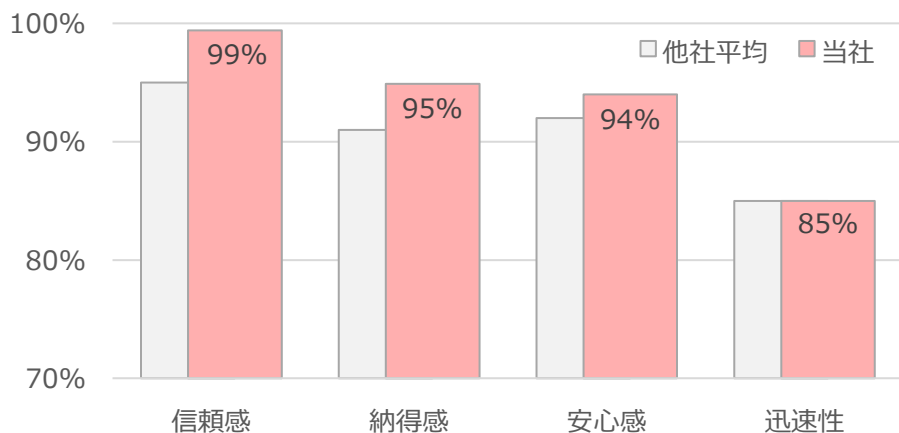
- 商品に係るコストやリスク等の情報を、お客さまの投資判断に資するよう分かりやすく適切に開示を行ってまいります。
- 商品の運用状況や相場変動時の投資環境、運用成果の向上に向けた取り組みについて、タイムリーな情報提供に努めてまいります。
- お客さまの長期投資のサポートや金融商品の理解に役立つコンテンツの拡充に努め、提供してまいります。

### 取組状況（情報提供）

- 商品開発・運用・情報提供等において、お客さまアンケートや外部評価機関から得られた評価結果をもとに、お客さまの評価向上に繋がる活動を進めています。
- Youtubeチャンネル『[三菱UFJアセットマネジメント ON AIR \(投信オンエア\)](#)』を通じて、資産運用や積立投資等の魅力といった運用会社独自の情報をタイムリーに発信する他、[投資環境等に関する定期的なレポートの配信](#)などを通じた情報提供に努めています。
- お客さまの商品選定・比較の参考となるよう、販売会社を通じて「重要情報シート」を提供しています。商品毎に、運用方針等の基本的情報や運用会社として想定している顧客属性を明示し、投資目的に沿った商品選定をサポートできるよう情報提供に努めています。

### <ご参考>【図3】運用会社からの情報提供の質・満足度に関する評価

#### 情報提供に関する満足度評価（2024年3月調査）



- お客さまが保有するファンドの運用会社からの情報提供の質・満足度について、第三者である外部調査機関に依頼し、アンケート調査を実施しております。
- 「信頼感、納得感、安心感、迅速性」の4つの評価基準における、好意的評価の比率を集計しています（2024年3月調査）

※ 追加型株式投信（除くETF）残高上位9社のファンドを保有する受益者（2,511名）を対象に、調査会社株式会社マクロミルに委託しインターネット調査を行っています。

※ 全国20～79歳の男女、対象運用会社の投信を3年以内に購入した投資家を対象に調査しています。

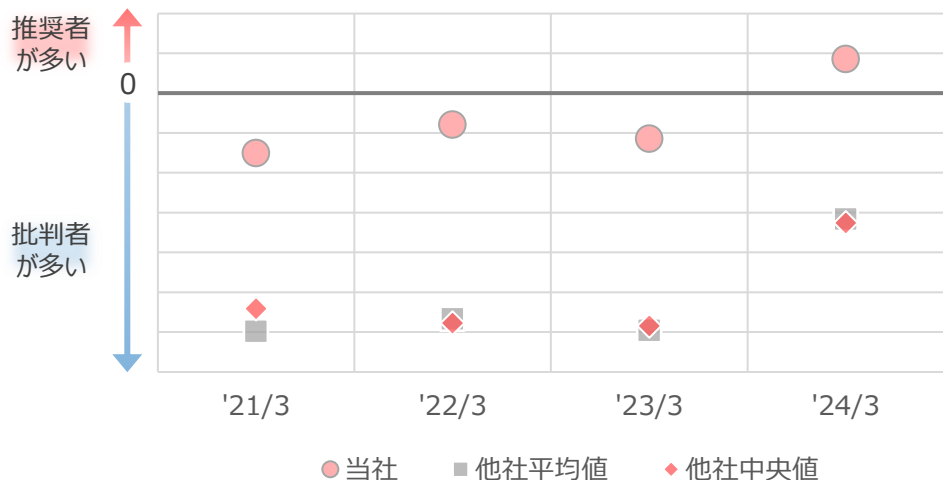
※ 「提供された情報から得られた運用会社の印象・イメージ」について、全4項目（①信頼感：きちんと情報開示されているので信頼できる、②納得感：自分が保有している商品の情報がわかりやすく提供されるので納得感がある、③安心感：必要な情報が提供されているので安心できる、④迅速性：タイムリー、丁寧な情報提供がされる）のアンケートを実施することで、情報提供の質・満足度、商品充実度を調査しています。

# 取組方針 3. お客様本位の情報提供およびコンサルティングの実践

【図4】NPS ～顧客推奨度の評価～

KPI

商品に関する顧客推奨度 ～当社NPSと他社NPSの平均値・中央値～




ポイント

- 推奨者と批判者の差分を測定するNPS調査では、一般的には、推奨者が批判者を上回っている状態を示す「0」以上の評価が得られる業種は多くありません。
- その中で、当社NPSは相対的に高い評価を得ており、他社平均値比でも高い結果を得ています。
- 今後も当社の投資信託にご満足いただけるよう、パフォーマンスや情報提供の向上に努めてまいります。

※ 追加型株式投信（除くETF）残高上位9社のファンドを保有する受益者（2,511名）を対象に、調査会社株式会社マクロミルに委託しインターネット調査を行っています。  
 ※ 全国20～79歳の男女、対象運用会社の投信を3年以内に購入した投資家を対象に調査しています。  
 ※ 当社を除く公募株式投信（除くETF）の残高上位8社（2024年1月末基準）の平均値を「他社平均値」、中央値を「他社中央値」として記載しています。  
 ※ NPS®は、ペイン・アンド・カンパニー、フレッド・ライクヘルド、NICE Systems, Inc.の登録商標又はサービスマークです。

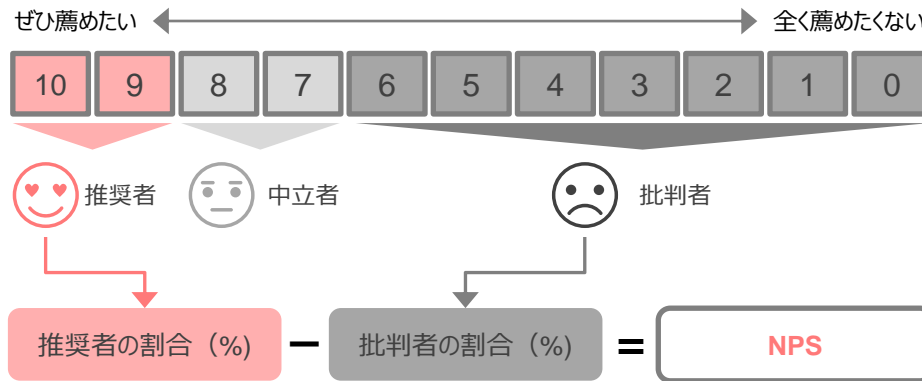
- NPS（Net Promoter Score）とは、下記の簡単な質問から顧客ロイヤリティを図る調査方法です。



0～10点で表すとして、〇〇を友人や同僚に薦める可能性はどのくらいありますか？

- この質問において、10-9点と評価した割合（推奨者）から6-0点と評価した割合（批判者）を引いた値がNPSとなります。
- 本調査では当社を含む運用会社各社の投資信託をお持ちのお客さまに対して、「〇〇（運用会社名）の商品について、あなたは友人や知人にどの程度薦めますか。ぜひ薦めたい10点、全く薦めたくない0点として、11段階から選択してください。」と質問し、各社のNPSを調査しました。

NPSの測定手法 イメージ



- 例①：[推奨者の割合：25%] - [批判者の割合：15%] = NPS：+10
- 例②：[推奨者の割合：15%] - [批判者の割合：20%] = NPS：-5



# 取組方針 5. お客様の投資成果向上に向けた運用の高度化

## 取組方針 5. お客様の投資成果向上に向けた運用の高度化

【原則3・6】

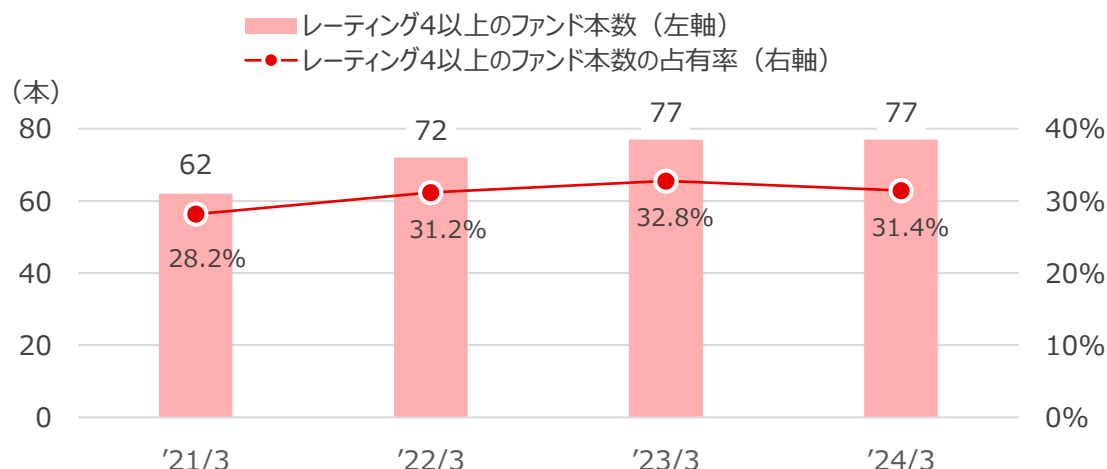
- **運用**のプロフェッショナルとして、徹底した調査・分析と適切な運用判断により付加価値を創造し、最良の投資成果をお客様に提供していくことをめざすとともに、運用実績のモニタリングを通じた運用品質管理を徹底してまいります。
- 運用人材の育成・強化による強固な運用体制を構築することを通じて、運用力の更なる向上に努めます。加えて、グループ内外の運用力を活用するとともに、海外の運用機関等も活用した運用ノウハウを蓄積し、多様化するお客様のニーズにお応えしてまいります。
- 受託者責任の観点から、運用を委託された資産の最良執行に努め、お客様の収益拡大に寄与する取り組みの高度化をめざしてまいります。
- **スチュワードシップ活動**を通じてスチュワードシップ責任を果たすとともに、株主利益と持続的な企業価値の向上を促し、お客様の利益最大化をめざしてまいります。
- **利益相反管理方針**を定め、お客様からお預かりしている資産の運用における利益相反管理の徹底に努めてまいります。

【図5】レーティング4以上のファンド本数／占有率

KPI

- お客様の投資成果向上に向けた運用の高度化を通じ、お客様への最良の投資成果の提供をめざし、日々運用に取り組んでいます。
- 運用力の結果を表す指標として、株式会社野村総合研究所が公表している「Fundmark投信評価レポート」において、当社の投資信託に付与されているFundmarkレーティング（以下「レーティング」）による評価を使用しています。
- 所定要件に該当するファンドを、特性の近い分類の中で比較し、5段階で評価（レーティング）されますが、レーティング4以上であれば同分類の中で上位33%に入っていることを意味しており、該当するファンド本数と占有率をKPIとしてお示しします。

※ Fundmarkレーティングについては、巻末ディスクレーム参照



ポイント

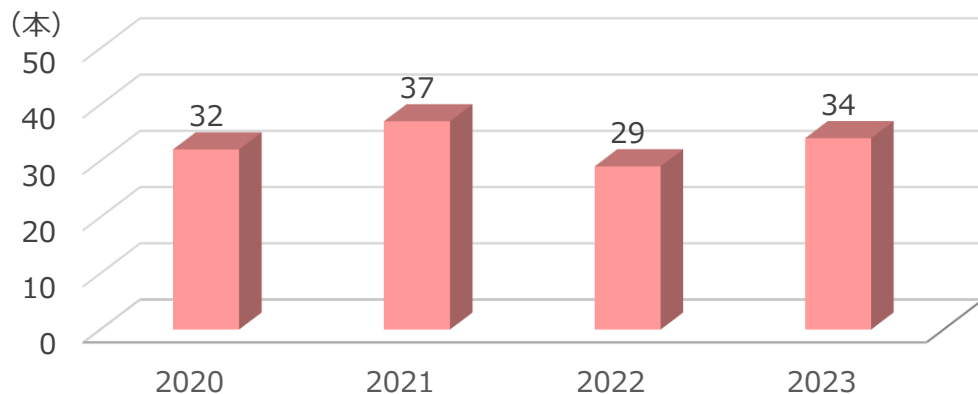
- レーティング4以上のファンド本数および全体に占める占有率は、共に増加傾向にあります。平均的なパフォーマンスを上回る付加価値のある運用をご提供するべく、引き続き運用の高度化に努めてまいります。

# 取組方針 5. お客様の投資成果向上に向けた運用の高度化

【図6】ファンドアワード受賞本数（本）

KPI

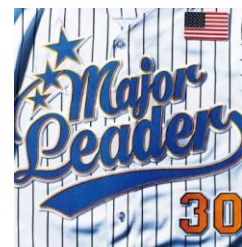
- 当社が提供する商品の運用力を示す一つの指標として、定量・定性評価で優れたファンドに送られる各種ファンドアワードの受賞本数の合計をお示しています。
- ファンドアワードは、下記4種のアワードを対象に集計し、その受賞合計本数です。
  - 「R&Iファンド大賞」
  - 「LSEG リッパー・ファンド・アワード・ジャパン」
  - 「モーニングスター・アワード」
  - 「投信ブロガーが選ぶ!Fund of the Year」
- 良好な運用成果を上げ、定量面で評価されたファンドの他、有識者や個人投資家による投票で定性面が評価されたファンドなど、アクティブファンド、インデックスファンドを問わず、多くのファンドで評価をいただいています。



- 2023年度は「投信ブロガーが選ぶ!Fund of the Year」で、[eMAXIS Slim 全世界株式（オール・カントリー）](#)が5年連続で第1位を獲得するなど、その運用力・商品力を高く評価いただいています。

<ご参考> 「次世代米国代表株ファンド<愛称：メジャー・リーダー>」

- 「[次世代米国代表株ファンド<愛称：メジャー・リーダー>](#)」は、良好なパフォーマンスが評価され、“R&Iファンド大賞 2024”にて過去10年のパフォーマンスを評価する「北米株式コア」部門の最優秀ファンド賞を受賞いたしました。
- 当ファンド（2013年5月設定）は、主として米国において取引される、持続的に成長が見込まれる、次世代の米国経済の主役となり得ると判断した企業への厳選投資を通じて、値上がり益の獲得をめざします。
- 運用を担当しているチームでは、持続的に成長が期待される企業を発掘し、直接取材などの徹底した調査・チームでの議論を通じた銘柄選択を行います。短期的な業績のブレや市況の変動に振られることなく、企業の業績が時間をかけて株価に反映されていく局面を捉える運用を実践しています。
- なお、当ファンドはNISA（少額投資非課税制度）における「成長投資枠（特定非課税管理勘定）」の対象ファンドです。



未来を創る、  
米国経済の主役たちと、ともに。

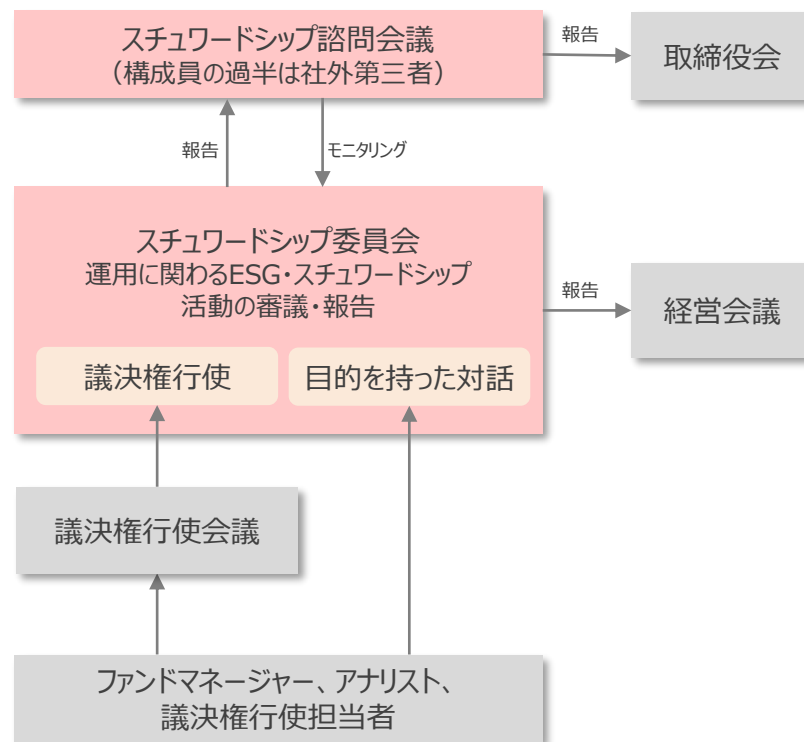
次世代米国代表株ファンド<愛称：メジャー・リーダー>

# 取組方針 5. お客様の投資成果向上に向けた運用の高度化

## 取組状況（スチュワードシップ活動）

- スチュワードシップ活動の一環として、投資先企業との対話(エンゲージメント)に継続的に努めており、スチュワードシップ活動報告（年次）および議決権の行使結果（四半期）をホームページにて公表しています。
  - ✓ なお、[スチュワードシップ活動報告書](#)はお客様により分かりやすい内容とすべく、2023年8月の発行分より内容を見直し、デザイン・内容を見直しております。
- 当社は、お客様から委託された資産の運用を行う立場として、投資先企業が株主利益を考慮して企業価値の向上や持続的な成長を果たすことに資するため、企業との「目的を持った対話」や明確な方針のもとでの議決権行使などのスチュワードシップ活動を実施しています。
- 当社は、責任ある機関投資家として適切に受託者責任を果たすため、「責任ある機関投資家」の諸原則《日本版スチュワードシップ・コード》の受入を既に表明していますが、より一層のガバナンス強化を目的として、「スチュワードシップ諮問会議」を設置しています。
  - ✓ 本諮問会議では、お客様から委託された資産の運用における議決権行使や投資先企業との「目的を持った対話」および投資行動が、投資家の利益最大化を確保するために十分かつ適切であることを検証しています。独立性・中立性を確保するため、取締役会が指名する議長を含めたメンバーで構成し、構成員の過半を社外第三者から選任しています。
  - ✓ 本諮問会議による検証結果は取締役会へ報告しています。

## スチュワードシップ活動のガバナンス体制



## 取組状況（利益相反管理方針）

- 当社は、利益相反管理方針を定め、役職員一同がこれを遵守することによって、お客様の利益を不当に害することがないよう、また、MUFGフィデューシャリー・デューティー基本方針に基づき、お客様本位の業務運営を実現することができるよう、万全を尽くしています。
- 特に、当社は異なるビジネスを営む複数の企業から構成されるMUFGに属し、様々な利益相反が発生するリスクがあることを踏まえ、常に、全役職員が利益相反によるお客様への不利益が生じることを回避し、顧客保護を図ります。

# 取組方針 8. 快適かつ安心・安全にお取引いただける態勢の整備

## 取組方針 8. 快適かつ安心・安全にお取引いただける態勢の整備

【原則6】

- お客様が投資運用サービスを身近に受けられる世界を実現できるよう、直販サービスサイトの改善、手続きの簡素化、対応の迅速化などによる一層の利便性向上に取り組んでまいります。また、直販サービスのセキュリティを向上させ、お客さまが安心してお取引いただける態勢を整備してまいります。
- 金融リテラシー向上の取り組みを通じ、各世代の自立的な資産形成に貢献してまいります。

### 取組状況（直接販売サービス）

- インターネットを通じた投資信託の直接販売サービス「三菱UFJアセットマネジメントダイレクト 愛称：mattoco（マッコ）」（2019年3月提供開始）では、安定的な資産形成のお役に立つ投資信託のご提案を通じ、お客さまの未来の選択肢を広げるお手伝いをしております。
- 2024年3月末時点で、「mattoco」では36本の商品を提供しており、mattocoでしか購入いただけないオリジナルファンドとして「[これぞ、日本株](#)」、「[百戦錬磨の名人ファンド](#)」をご提供しております。その他、目的実現のためにお客さまが投資のプランを考える際の参考情報として、入力した前提に基づいたシミュレーションをご提示する支援ツール「[mattocoチョイス](#)」や、ファンドにまつわるトピックや運用会社を身近に感じていただける情報をお届けする「[知る・学ぶ](#)」など投資がより身近なものになっていただけるようコンテンツを提供しております。

### 利便性を向上した「mattoco+（マッコプラス）」の提供開始～直販サービス「mattoco」をリニューアル～

- 当社は、mattocoをリニューアルし、株式会社スマートプラスとともに、2024年10月に新しい投資信託の直販サービス「[mattoco+（マッコプラス）](#)」を開始いたします。
- mattoco+においても、本サービスをご利用いただく投資家の皆さまの資産形成を見据え、厳選したファンドラインナップの提供や、運用会社ならではのセミナーやコンテンツ等の情報提供により、「投資信託を通じて、お客さまの将来のための長期資産形成をサポートする」というmattocoのコンセプトを継続します。
- 加えて、株式会社スマートプラスのプラットフォームを活用し、これまで投資家の皆さまからのご要望が多かった機能等の拡充を図り、シンプルで、始めやすく、続けやすい資産運用サービスをめざしてまいります。



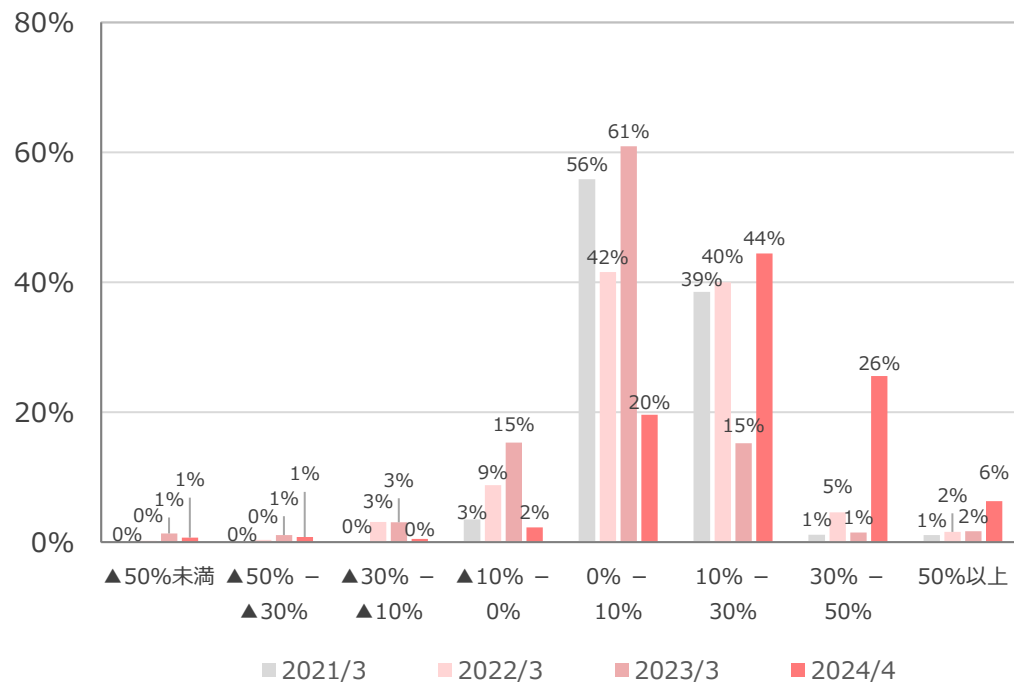
# 投資信託の比較可能な共通 K P I

- 2018年6月に金融から公表された「投資信託の販売会社における比較可能な共通KPI」（以下、共通KPI）を踏まえ、当社が提供する直販サービス「mattoco」の実績を公表致します。
- お示している共通KPIの定義・算出方法の詳細は、金融庁ホームページにてご確認ください。（以下、金融庁への外部リンクとなります）
  - ✓ [金融庁による投資信託の販売会社における比較可能な共通KPIについての発表](#)
  - ✓ [投資信託の販売会社における比較可能な共通KPIの定義](#)
- 当社直販サービス「mattoco」における、過去3年（2021年／2022年／2023年／2024年3月末時点）の運用損益をお示しております。

【図7】 共通KPI①：投資信託運用損益別顧客比率

当社直販サービス「mattoco」 KPI

## 投資信託の運用損益別顧客比率



- 金融庁が2018年6月に公表した「投資信託の販売会社における比較可能な共通KPI」として毎年3月末時点の指標を、2022年より公表しております。
- 当社の直販サービス「mattoco」で投資信託をご購入いただいたお客様の2020年度以降の運用損益状況をお示しております。

### ポイント

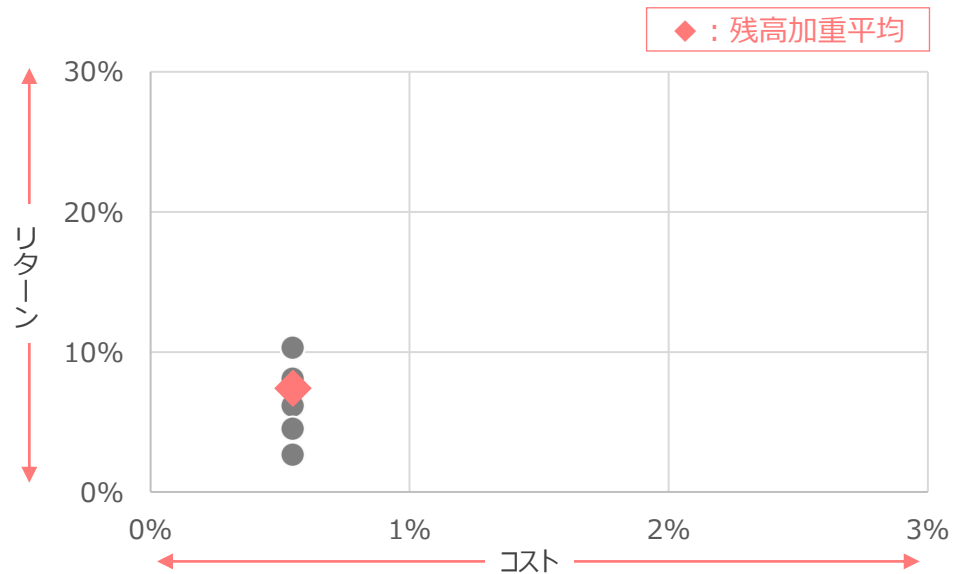
- 2024年3月末時点において、運用益が出ているお客様の比率は96%でした。
- mattocoでは、積立投資をご利用されているお客様も多く、短期的なマーケットの変動に大きく影響されていないことが、要因の一つと考えられます。

# 投資信託の比較可能な共通 K P I

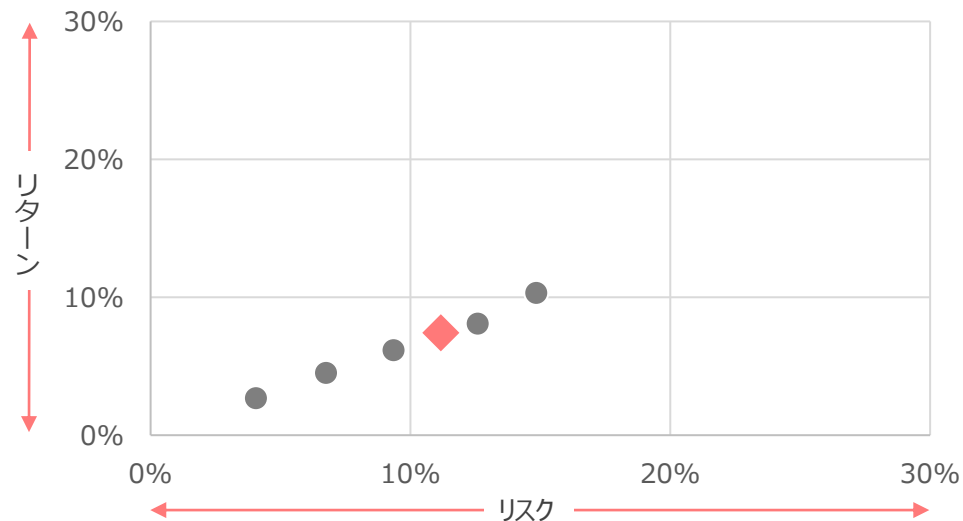
【図8】 共通KPI②：投資信託預かり残高上位銘柄のコスト／リスク・リターン（2021年3月）

当社直販サービス「mattoco」

KPI



	銘柄名	コスト	リスク	リターン
1	eMAXIS 最適化バランス（マイフワード）	0.55%	12.60%	8.08%
2	eMAXIS 最適化バランス（マイミッドフィルダー）	0.55%	9.37%	6.16%
3	eMAXIS 最適化バランス（マイストライカー）	0.55%	14.86%	10.30%
4	eMAXIS 最適化バランス（マイディフェンダー）	0.55%	6.76%	4.52%
5	eMAXIS 最適化バランス（マイゴールキーパー）	0.55%	4.07%	2.66%
	残高加重平均（◆）	0.55%	11.18%	7.41%

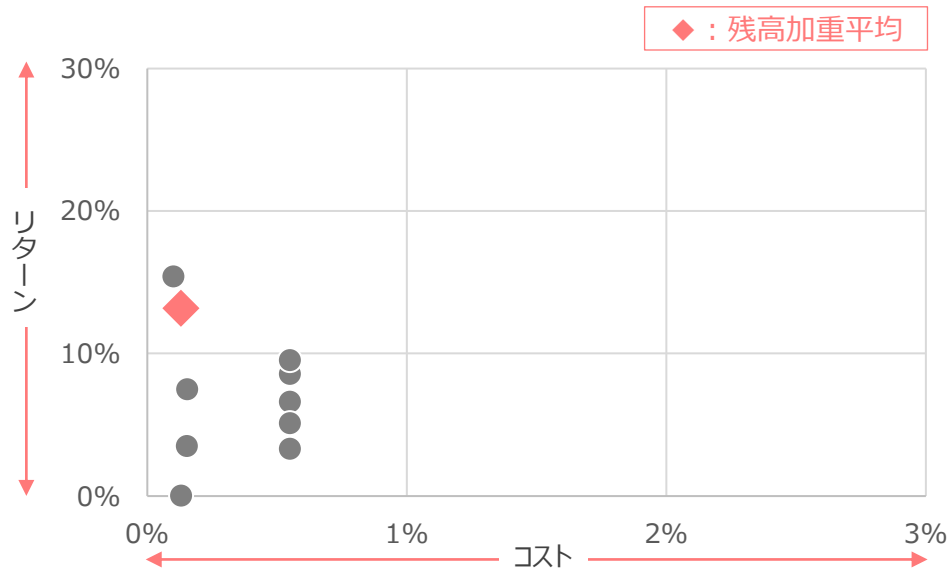


# 投資信託の比較可能な共通 K P I

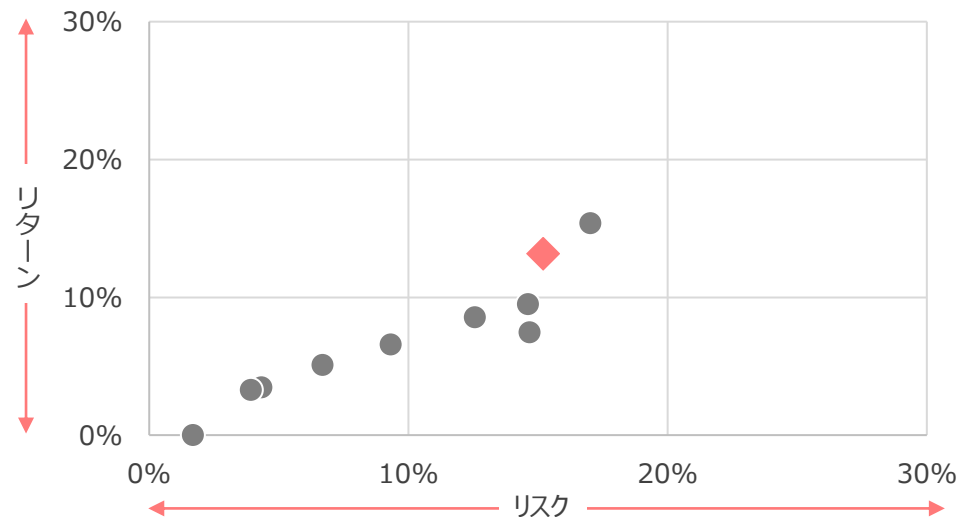
【図9】 共通KPI②：投資信託預かり残高上位銘柄のコスト／リスク・リターン（2022年3月）

当社直販サービス「mattoco」

KPI



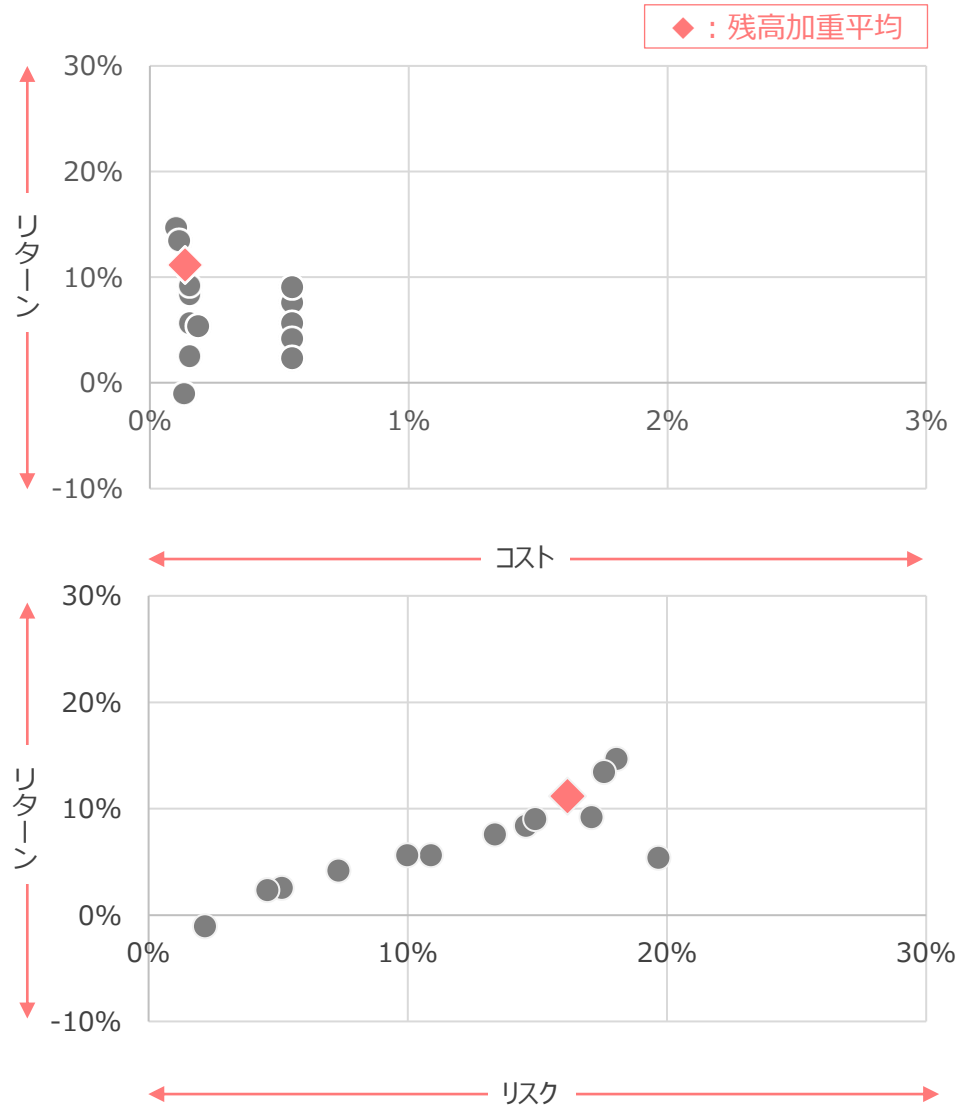
	銘柄名	コスト	リスク	リターン
1	eMAXIS Slim 先進国株式インデックス	0.10%	17.02%	15.38%
2	eMAXIS Slim 先進国債券インデックス	0.15%	4.34%	3.48%
3	eMAXIS Slim 国内株式 (TOPIX)	0.15%	14.68%	7.46%
4	eMAXIS Slim 国内債券インデックス	0.13%	1.69%	-0.00%
5	eMAXIS 最適化バランス (マイフォワード)	0.55%	12.57%	8.55%
6	eMAXIS 最適化バランス (マイミッドフィルダー)	0.55%	9.32%	6.58%
7	eMAXIS 最適化バランス (マイストライカー)	0.55%	14.61%	9.51%
8	eMAXIS 最適化バランス (マイディフェンダー)	0.55%	6.69%	5.08%
9	eMAXIS 最適化バランス (マイゴールキーパー)	0.55%	3.93%	3.29%
	残高加重平均 (◆)	0.13%	15.20%	13.17%



【図10】 共通KPI②：投資信託預かり残高上位銘柄のコスト／リスク・リターン（2023年3月）

当社直販サービス「mattoco」

KPI



	銘柄名	コスト	リスク	リターン
1	eMAXIS Slim 先進国株式インデックス	0.10%	18.07%	14.68%
2	eMAXIS Slim 全世界株式（除く日本）	0.11%	17.58%	13.44%
3	eMAXIS Slim バランス（8資産均等型）	0.15%	10.90%	5.61%
4	eMAXIS Slim 国内株式（日経平均）	0.15%	17.10%	9.21%
5	eMAXIS Slim 新興国株式インデックス	0.19%	19.68%	5.37%
6	eMAXIS Slim 国内株式（TOPIX）	0.15%	14.57%	8.39%
7	eMAXIS Slim 先進国債券インデックス	0.15%	5.16%	2.54%
8	eMAXIS Slim 国内債券インデックス	0.13%	2.19%	-1.06%
9	eMAXIS 最適化バランス（マイストライカー）	0.55%	14.92%	9.01%
10	eMAXIS 最適化バランス（マイフワード）	0.55%	13.37%	7.56%
11	eMAXIS 最適化バランス（マイミッドフィルダー）	0.55%	10.00%	5.62%
12	eMAXIS 最適化バランス（マイディフェンダー）	0.55%	7.33%	4.18%
13	eMAXIS 最適化バランス（マイゴールキーパー）	0.55%	4.59%	2.34%
	残高加重平均（◆）	0.14%	16.17%	11.15%

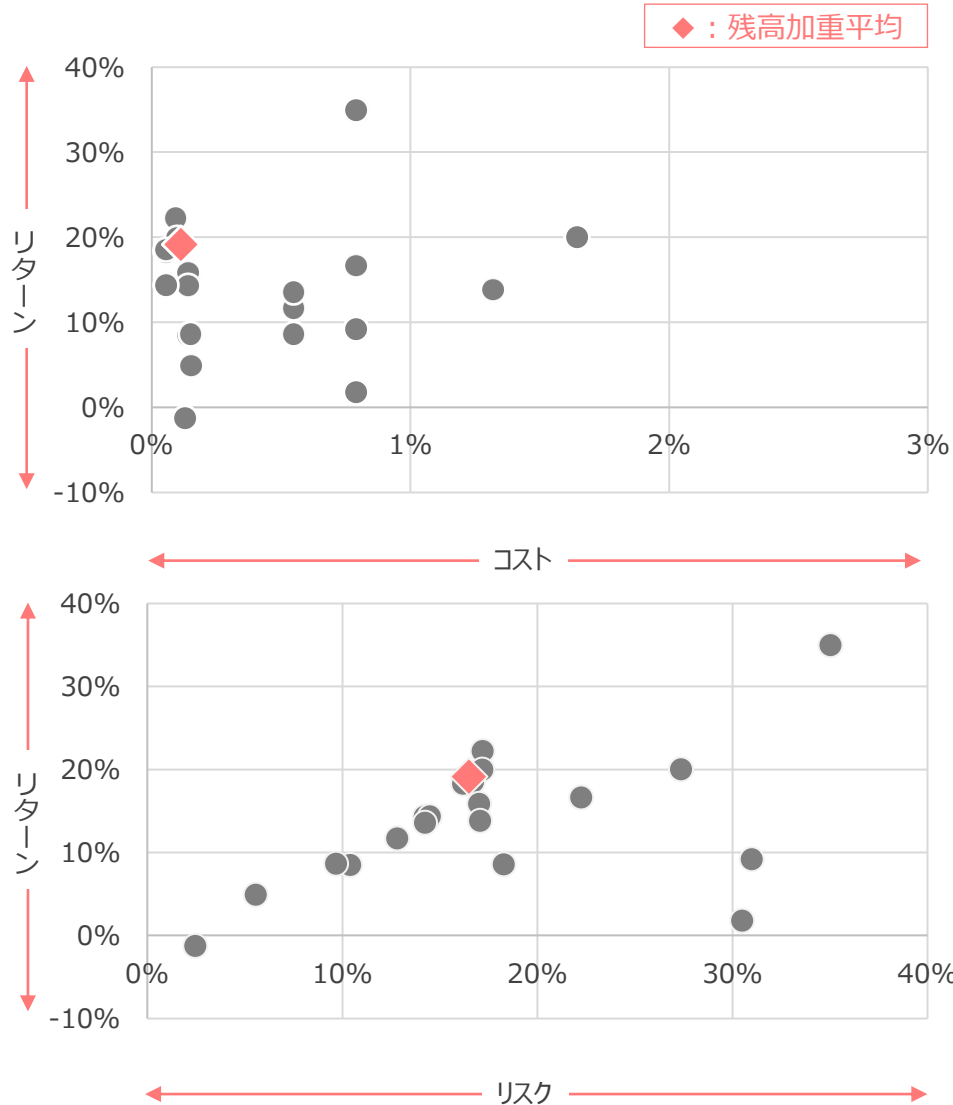


# 投資信託の比較可能な共通 K P I

【図11】 共通KPI②：投資信託預かり残高上位銘柄のコスト／リスク・リターン（2024年3月）

当社直販サービス「mattoco」

KPI



	銘柄名	コスト	リスク	リターン
1	eMAXIS Slim 米国株式 (S&P500)	0.09%	17.19%	22.19%
2	eMAXIS Slim全世界株式 (オール・カントリー)	0.06%	16.18%	18.23%
3	eMAXIS Slim 先進国株式インデックス	0.10%	17.17%	19.95%
4	eMAXIS Slim 全世界株式 (除く日本)	0.06%	16.70%	18.49%
5	eMAXIS Slim バランス (8資産均等型)	0.14%	10.40%	8.46%
6	eMAXIS Slim 国内株式 (日経平均)	0.14%	17.02%	15.81%
7	eMAXIS Slim 新興国株式インデックス	0.15%	18.28%	8.53%
8	eMAXIS Slim 国内株式 (TOPIX)	0.14%	14.22%	14.27%
9	eMAXIS Slim 先進国債券インデックス	0.15%	5.57%	4.89%
10	eMAXIS Slim 全世界株式 (3地域均等型)	0.06%	14.49%	14.33%
11	ベイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド	1.64%	27.37%	19.98%
12	これぞ、日本株	1.32%	17.05%	13.78%
13	eMAXIS Slim 国内債券インデックス	0.13%	2.46%	-1.31%
14	eMAXIS 最適化バランス (マイミッドフィルダー)	0.55%	9.68%	8.62%
15	eMAXIS 最適化バランス (マイフワード)	0.55%	12.81%	11.66%
16	eMAXIS Neo バーチャリアリティ	0.79%	35.02%	34.94%
17	eMAXIS Neo 宇宙開発	0.79%	22.25%	16.61%
18	eMAXIS 最適化バランス (マイストライカー)	0.55%	14.24%	13.53%
19	eMAXIS Neo 遺伝子工学	0.79%	30.50%	1.74%
20	eMAXIS Neo ナノテクノロジー	0.79%	30.98%	9.14%
	残高加重平均 (◆)	0.11%	16.50%	19.11%

## 取組方針 9. プロフェッショナリズムの発揮

【原則2・7】

- 一人ひとりがプロフェッショナル人材としてお客様の最善の利益を追求するために、研修等を通じた知識・スキルの向上に努め、お客さまからの更なる信頼の獲得をめざしてまいります。
- 優秀な運用人材および競争力のある運用体制を構築するために、人材育成に係る環境・ツールや適切な競争を促す人事評価・報酬体系を整備してまいります。

### 取組状況（人材育成）

- 証券アナリスト等、資産運用業務に関連する資格取得を通じた専門性の維持に努めております。
- 社員の専門性向上に向け、証券アナリストを含む資格取得支援制度や、海外関連会社への出向およびトレーニーとしての派遣を通じた運用関連スキルの育成を促しています。
- 社員一人ひとりの多様性を活かし、能力・専門性・貢献度に応じた適正かつ柔軟な処遇をめざし、新人事制度を2023年4月に導入しました。
  - ✓ 運用会社として、「お客様の資産形成・資産運用に貢献する」、「持続可能な社会の実現に貢献する」ためにも、経営資本である、「人」の力を高めることが最も重要であると考えています。
  - ✓ 能力発揮・貢献度に応じた処遇を徹底することにより、「多様な社員が高い専門性を発揮できる」会社として一層の変革を遂げていくとともに、運用人材を含む社員それぞれのプロフェッショナル度を高め、お客さまに提供する価値の最大化を引き続き目指しています。

# <本資料の図表データに係るディスクレーム>

【図5】レーティング4ツ星以上のファンド数推移／占有率

- NRIは、国内で販売されている追加型投資信託※の運用実績を用いて、商品ごとにパフォーマンスの比較・評価を行っています。運用方針や運用実態に沿って投資信託の分類（Fundmark分類：約300分類）を行い、同一分類内において、投資信託のパフォーマンス（リスク調整後リターン）を相対的に評価し、5段階の評価（Fundmarkレーティング）を発表しています。
- 追加型投資信託の内、評価対象となるものは、アクティブファンド、トラックレコードが3年以上のファンド、過去3年の平均運用残高が10億円以上、かつ評価最終月の運用残高が10億円以上のものに限る（ひとたび評価対象となった場合には、評価期間中の平均運用残高が10億円以上、かつ評価最終月末の運用残高が8億円以上であれば対象を継続）。また、上記の条件を満たす投資信託が10本以上存在するカテゴリ（小分類を為替分類で細分化した分類）に属するものに限る。
- Fundmarkレーティングはあくまで過去のデータを分析したものであり、将来のパフォーマンスを保証するものではありません。Fundmarkレーティングは、投資判断・資産運用の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘等を目的としたものではありません。Fundmarkレーティングのいかなる部分も、その著作権、知的財産権その他一切の権利は、株式会社野村総合研究所又はその許諾者に帰属しており、いかなる目的であれ、電子的、機械的、光学的、その他のいかなる手段によっても、株式会社野村総合研究所の書面による同意なしに、無断で複製、引用、転載又は転送等を行うことを禁止いたします。株式会社野村総合研究所は、Fundmarkレーティングの正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性等につき、いかなる保証も行いません。また、Fundmarkレーティングの利用に起因する利用者およびその他第三者のいかなる損害についても、株式会社野村総合研究所は一切の責任を負いません。

【図6】ファンドアワード受賞本数

- 「R&I ファンド大賞」は、R&I が信頼し得ると判断した過去のデータに基づく参考情報（ただし、その正確性及び完全性につき R&I が保証するものではありません）の提供を目的としており、特定商品の購入、売却、保有を推奨、又は将来のパフォーマンスを保証するものではありません。当大賞は、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第 299 条第 1 項第 28 号に規定されるその他業務（信用格付業以外の業務であり、かつ、関連業務以外の業務）です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置が法令上要請されています。当大賞に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利は R&I に帰属しており、無断複製・転載等を禁じます。
- LSEG リッパー・ファンド・アワードは毎年、多くのファンドのリスク調整後リターンを比較し、評価期間中のパフォーマンスが一貫して優れているファンドと運用会社を表彰いたします。選定に際しては、「Lipper Leader Rating（リッパー・リーダー・レーティング）システム」の中の「コンシスタント・リターン（収益一貫性）」を用い、評価期間 3 年、5 年、10 年でリスク調整後のパフォーマンスを測定いたします。評価対象となる分類ごとに、コンシスタント・リターンが最も高いファンドに LSEG リッパー・ファンド・アワードが贈られます。詳しい情報は、lipperfundawards.com をご覧ください。LSEG Lipper は、本資料に含まれるデータの正確性・信頼性を確保するよう合理的な努力をしていますが、それらの正確性については保証しません。
- Morningstar Awards 2024 ©. Morningstar, Inc. All Rights Reserved. ここに含まれる情報は、(1) Morningstar および/またはそのコンテンツ提供者の専有財産であり、(2) 複写または配布は禁止されており、(3) 正確性、完全性及び適時性のいずれも保証するものではなく、また(4) 投資、税務、法務あるいはその他を問わず、いかなる助言を構成するものではありません。ユーザーは、この情報の使用が、適用されるすべての法律、規制、および制限に準拠していることを確認する責任を単独で負います。Morningstar およびそのコンテンツ提供者は、この情報の使用により生じるいかなる損害または損失についても責任を負いません。過去の実績は将来の結果を保証するものではありません。

公表日：2024年6月28日